★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ジュゴン　Vol.87

# ちゃんぷるニュース

SDCC Save the Dugong Campaign Center　2016.　7. 19

CONTENTS

●2/3 情勢・国地方係争処理委
●　IUCN で外来種対策の動議
●　県議選で県政与党安定多数
●4/5 6.19 県民大会
●　じゅごんの里ツアー報告
●6/7 わんさか通信★ジュゴンのわ
●　コラム～不幸の元凶～

６月１９日「元海兵隊員による残虐な蛮行を糾弾！被害者を追悼し、海兵隊の撤退を求める県民大会」（オール沖縄主催）に６万５千人が参加。本土では４１都道府県で集会・デモが行われ、国会前集会には１万人が参加しました。プラカードの「怒りは限界を超えた」「海兵隊は撤退を」に県民の気持ちが表れています。自民党、公明党は「超党派での実行委員会ではない」と党利党略で不参加。県民の思いに背を向けました。

オール沖縄の呉屋守将共同代表は「２１年前の大会と違い、はっきりと海兵隊の撤退を求めることが重要だった。これが具体的な解決策だ」と強調しています。共同代表のひとり玉城愛さんは「安倍晋三さん。日本本土にお住まいのみなさん。今回の事件の『第二の加害者』は、あなたたちです。しっかり、沖縄に向き合っていただけませんか。パトカーを増やして護身術を学べば、私たちの命は安全になるのですか」（抜粋）と、米軍の占領下にある沖縄の現状を黙認している本土の人々を痛烈に批判しました。

# 「しっかり、沖縄に向き合ってください！」
# ～6・19県民大会

６月２１日、国地方係争処理委員会は沖縄県と政府に「国と県は、普天間飛行場の返還という共通目標の実現に向けて真摯（しんし）に協議することが、問題解決への最善の道との見解に到達した」との決定を通知しました。３月の高等裁判所那覇支部の和解勧告と同じものです。思惑が外れた政府は、早期着工を狙って７月末にも別の裁判を起こすなど司法での決着の準備を進めています（６月 28 日共同通信）。

沖縄県民の民意は海兵隊の撤去、辺野古新基地建設反対、日米地位協定の抜本的改定です。６月５日の県議会選挙でも翁長県政与党、オール沖縄が過半数を実現し「大勝利」（翁長知事）しました。参議院選挙沖縄選挙区でも現職の島尻沖縄担当大臣を伊波洋一さんは破りました。沖縄県民の声に応えて、海兵隊撤退、辺野古新基地建設反対、日米地位協定の抜本的改定の闘いを本土でも強めましょう。

（事務局　蜷川義章）

[WEB] http://www.sdcc.jp/　[EMAIL] info@sdcc.jp

海兵隊の撤退を求める県民大会参加者
（本面、４面に関連記事）

じゅごんの里ツアーで名護市との交流では稲嶺市長さんご本人がご挨拶に来て下さいました（５面）

# 沖縄県の実質的勝利　−6/17国地方係争処理委員会決定−

6 月 17 日、国地方係争処理委員会は、翁長沖縄県知事の「埋め立て承認取り消し」に対する国の「是正指示」に関する是非の判断をせず、双方に協議を求める決定を下した。係争委の小早川光郎委員長は「是正指示にまで至った一連の過程は、国と地方のあるべき関係からは乖離（かいり）している」と述べた。国よりの処理委員会も、地方自治をあからさまに否定する政府を支持する決定を下すことはできなかった。

違法の判断がされなかった以上、翁長知事の「埋め立て承認取り消し」は有効であり、沖縄防衛局は工事を進めることができない。沖縄県の実質的勝利である。

管官房長官は、6 月 20 日、国地方係争処理委員会が違法か適法か適否を示さなかったのを受け、県が提訴すべきだとの認識を示した。法廷闘争での決着を急いでいるからだ。しかし翁長県知事は、提訴はせず国に対して「委員会の判断を尊重し、県と問題解決に向けた実質的な協議をしてほしい」と求めた。政府は 7 月中に沖縄県との協議をおこなうことを表明せざるをえなくなった。

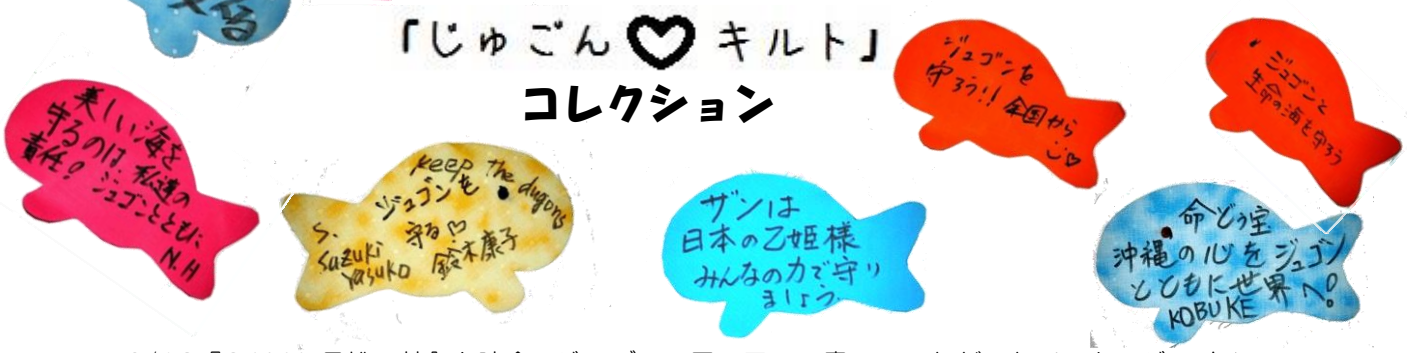
現在、政府は沖縄県が国の是正指示に従うべきだとして、政府側から違法確認訴訟を起こす検討を始めた（6/28 共同通信）。翁長雄志知事が最終期限である 7 月 21 日までに提訴しない場合、より政府寄りの裁判での「埋め立て承認取り消し」の無効化を狙っている。安倍政権の独裁的な手法は変わっていない。

6 月 19 日の「元海兵隊員による残虐な蛮行を糾弾！被害者を追悼し、海兵隊の撤退を求める県民大会」には県内外から 6 万 5 千人が参加した。同日東京での 1 万 5 千人の国会包囲行動など、全国各地で県民大会につながる行動が行われた。今、工事は止まっている。「辺野古が唯一」という政府の立場を突き崩す国内外の世論をいっそう広げるときである。そして 9 月ハワイでのＩＵＣＮ第 6 回世界自然保護会議の重要性が高まっている。　（関西　松島洋介）

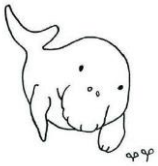
## トピックス

＜参院選＞沖縄選挙区で伊波洋一さんが島尻安伊子現職大臣に 10 万票差をつけて当選　写真：沖縄タイムス

## 「じゅごん♡キルト」コレクション



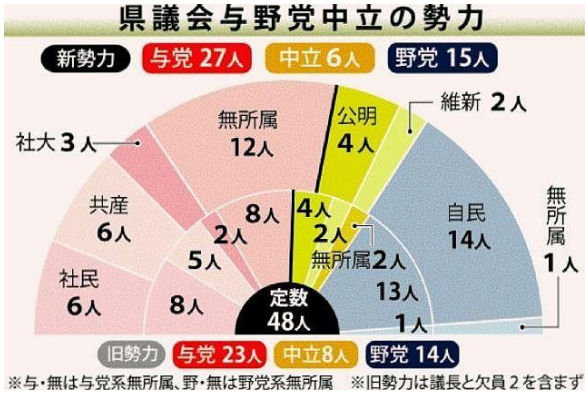

6/18『GAMA 月桃の花』上映会、ジュゴンの里ツアーで書いていただいたメッセージです♪
現在 500 枚ほど集まっています。ハワイ会議に向けて、バナーにちくちく縫いつけ中～。



# 安定多数で勝利~6/5沖縄県議会選挙

６月５日、沖縄県議会選挙は翁長知事与党が２７議席、公明党、維新の会など中間派は６議席、自民党など野党は１５議席。辺野古新基地建設反対の翁長与党は安定多数を実現しました。今年１月の宜野湾市長選挙では、争点隠しでシムラ候補は残念ながら負けましたが、県議選挙宜野湾市選挙区（定数３）では与党が２議席を占め勝利しました。翁長知事は「大勝利」とのコメントを明らかにしています。これで、名護市長選挙、沖縄県知事選挙、衆議院選挙で表れた「オール沖縄」の民意は何ら変わっていないことが明らかになりました。

県議選挙は７月１０日投票の参議院選挙の前哨戦です。沖縄担当大臣の島尻候補は、沖縄県民意識調査の「辺野古移設反対５８．２％」について「沖縄県にはさまざまな意見、考え方がある」と民意を無視し、辺野古移設推進を参議院選挙の公約にしています。イハ洋一候補の勝利で、辺野古・大浦湾の埋め立て工事の断念に追い込みましょう。　　（事務局　蜷川義章）




沖縄タイムス６月６日

## IUCN 総会に外来種対策を求める動議提出

SDCC は日本自然保護協会などと議論を進め、辺野古基地建設の土砂搬入での外来種侵入問題を取り上げた「島しょ生態系の外来種対策の強化を求める動議」をIUCNに提出し、ハワイのIUCN総会で採決に付されることになりました。

SDCC は辺野古基地における、環境破壊の１つとして、埋め立てに使用される大量の土砂の問題を訴えてきました。埋め立てに必要な 2100 万㎥にもおよぶ土砂は沖縄本島だけではまかないきれず、1700 万㎥は瀬戸内の小豆島などの貴重な山など日本本島から持ってこられます。土砂の搬出場所とされる６県７地域では、現在、アルゼンチンアリやセアカゴケグモなど在来の生態系に大きな影響を与える可能性のある外来種が確認されています。沖縄のような固有の生態系をもつ島にとって、外来種の侵入は生態系や農業、漁業へどのように影響するか全く予測ができません。

今回の動議は、SDCC を含む６つの IUCN 環境団体で提出しました。動議の中では、埋立土砂の持ち込みには、第三者の専門家の適切なリスク分析を行うほか、意思決定の参加プロセスに第三者の専門家や利害関係者を交えること、軍事活動に介した外来種の侵入に関しては、アメリカ政府と共同で対策を取ることなどを求めています。

土砂による外来種問題については、何度も国に申し入れをしてきました。しかし、日本が議長国になった生物多様性 COP10 でも侵略的外来種の対策・管理について関連目標が決まったにもかかわらず、国は委託業者任せの発言を繰り返していました。日本政府に対するジュゴン保護に関しては、異例のことながら３回もの決議と勧告が採択されています。今回はそのこともあり慎重に議論を重ねてきましたが、重要な問題であり、国際社会に訴え、日本政府にきちんと認識、対策を考えてもらう必要があると、動議提出に踏み切りました。稲嶺名護市長も参加するIUCN会議、様々な角度と手法で「基地ではなくジュゴン保護区を」を訴えていきたいと思います。

（国際担当　正阿彌（しょうあみ））

# 沖　縄　暑い熱い一日　6月19日県民大会に参加して

暑い熱い１日でした。「元海兵隊員による残虐な蛮行を糾弾！被害者を追悼し、海兵隊の撤退を求める県民大会」へわが町本部町島ぐるみ会議は独自に大型バスとマイクロバスを仕立てて参加。出発３０分前にはもう大型バスには多くの参加者が。町内数か所に掲げた看板を見ての参加者も多く、急きょマイクロバスを追加。怒りの大きさと大会の成功への思いが伝わる。自家用車での参加者を含めて１００名近くが本部町から。

正午過ぎには奥武山陸上競技場に県内各地からののぼりが続々と集まって来る。また県外からの懐かしい顔も。

伊江島からも「わびあいの里」謝花悦子さんや阿波根昌鴻さんと共に戦われた反戦地主平安山良有さんたちの姿も。

古謝美佐子さんの「童神」で幕を開け、海勢頭豊さんの「月桃」で幕を下ろした大会は被害者への深い追悼と米軍への怒り、そして２度と繰り返させないため何をしなければならないのか、その行動への決意に満ちた静かで厳かなそして熱い思いをひとつにしたものだった。

「２度とこのような事件を起こさせないためには全基地撤去しかない」とのメッセージを寄せられたご家族。高く掲げた「怒りは限界を超えた」「海兵隊は撤退を」。大会で終わるのではない。この思いを今こそ一人一人の思いとし行動しよう。

（沖縄　高垣喜三）

「わびあいの里」謝花悦子さんの姿も

海勢頭代表が「月桃」を演奏

稲嶺名護市長

# 東　京　「怒りと悲しみの沖縄県民大会に呼応するいのちと平和のための６・１９行動」に参加して

東京では、「怒りと悲しみの沖縄県民大会に呼応するいのちと平和のための６・１９行動」が行われました。国会前では、約１万人が哀悼の黒を身につけて、参加。

開始前に「寿」のナーグシク・ヨシミツさんが、ウチナーグチで「琉球魂」を熱唱！

哀悼の意の１分間の「沈黙」の後、一坪反戦地主会・関東ブロックの開会挨拶は、「今日は徹底的に沖縄の立場でさせてもらいます」でした。次々と登壇する沖縄出身者達は、日本復帰前後から続く不条理な状況を声高に訴えました。「私たちは、決して負けません!」との決意に大きな拍手がしばらく止みませんでした。

参加者は、「出ていけ!海兵隊、」「許さん、女性殺害！」のプラカードを一斉に掲げたり、シュピレヒコールを繰り返しました。　（首都圏　宮城韶子）

７月１日～３日、今年も辺野古現地を訪れる「じゅごんの里ツアー」を開催しました。今回は、稲嶺名護市長にお会いすることが出来ました！また地域で粘り強い活動を続ける方たちと交流し、あきらめない闘いがオール沖縄を育てたと実感しました。お天気に恵まれすばらしい海と山を体験、ジュゴンを守ることは戦争へと向かう日本を変えること。希望湧くツアーとなりました。

# じゅごんの里ツアー2016

## １日目　普天間爆音訴訟団事務所 名護市役所訪問

赤嶺和伸さんのお話を聞きました。

名護市役所で。
海勢頭豊代表から挨拶。

## 稲嶺市長と交流

名護市役所との交流では、IUCNの参加に向け、稲嶺進市長自らがお話をしてくださいました。やわらかいうちなーロの挨拶で始まり、人権、民主主義、環境、それぞれを大切に想い、大浦湾辺野古の貴重で豊かな多様性の海を国内外に訴えたいとおっしゃっていました。「現地で座り込みをしている人や県外でもがんばってくださっている人たちの協力や支援が心強い。絶対に曲げない、逃げない。負けない方法は絶対にあきらめないこと」と力強く語ってくださいました。

広報渉外課の職員からも、生物多様な海を埋め立てるのは愚かなことで、今を生きる大人が正しい選択をすることが大切。市長に負けない強い意志でやっているという力強いお話を聞けました。

（関西　正阿彌（しょうあみ））

## ２日目　辺野古テント村、浜、船で大浦湾めぐり、シュワブ前ピースキャンドル

浜のテントは８年と4458日、ゲート前は727日。屈しない闘いが続きます

シュワブゲート前で渡具知さん一家が毎週土曜日に続けられている行動です。

## ３日目　二つのコースに分かれて名護市地域散策

羽地ダム、真喜屋の滝散策。
ガイドはフリーライターの浦島悦子さん

天仁屋川ヒラタチ（滝）へリバートレッキング。
ガイドは地域おこし支援員の松尾太土.さん

## 初参加者おふたりから

はじめに、普天間基地フェンスに隣接する赤嶺さん宅の真上をオスプレイが低空飛来するのを目の当たりにしました。 ピースキャンドル行動では、手を振ってくれる往来の車。罵声を浴びせた米軍の車。 真喜屋の滝下を本部とし、ゲリラ活動を強いられた少年護郷隊の存在。山の斜面の身を隠す横穴。奥深く続く壕。調査はされていないという。多くの犠牲現場の滝下で泳ぐ米軍ファミリーやカップル達。 グラスボートから観えたグリーンやブルーのサンゴ礁とコンクリートブロック。 沖縄の現状は深刻です。新基地建設は戦争への準備です。非暴力抵抗運動の大切さを確信する盛り沢山の旅でした。スタッフ、参加者の皆々様ありがとうございました。　（首都圏　鈴木）

無知な新米会員が、ジュゴンが見られる期待と、米軍属の事件への怒りに背中を押され神戸空港から沖縄へ飛んだ。暑い！でも空気は爽やか。

初日のメインは「稲嶺名護市長との交流」。恐らく、代理が応対すると思いきや、ご本人がニコニコと予定の時間を過ぎても話されて感激。ＳＤＣＣって凄いんや！！

二日目。いよいよジュゴンとのご対面かとワクワクして、乗船。結果現れたのは沖縄防衛局の船体が灰色一色の不気味な警備艇だけ。一定の距離を置いて何処までも追尾してくる。姿を隠してマイクで喚いてる君！君！チットモカッコ良くないよ。

夕方、ピースキャンドルに参加。学生時代「沖縄奪還！闘争勝利！」と学内でマイクを握っていた空々しさが、少し晴れた気分でした。　（関西　わたなべひろしげ）

# 「沖縄から見える日本」に参加して

６月。毎年、この季節に沖縄・宮森小学校に米軍ジェット機が墜落したことを、語り継ぐための集いを「宮森６３０を伝える会」と共に、行っています。

今年は、６月１８日、明治学院大学で、「沖縄から見える日本―戦争へと向かう？どうするあなたは！」を実施。

第一部は半田滋さん（東京新聞論説兼編集委員）による、「沖縄の民意を無視して進める基地建設―米軍辺野古新基地、先島諸島への自衛隊配備」。島の自治が自衛隊に影響される状態になるなど、あらゆる角度から自衛隊の先島諸島配備の危険性に警鐘を鳴らしました。

第二部は、若者たちによるパネルデイスカッション「わたしと沖縄」。沖縄から参加したのは、キャンプシュワーブ前で、１４年前から、家族で「ピースキャンドル」を行っている渡具知さんの長男・武龍君。

名護の市民投票の年に生まれ、赤ちゃんの頃から、両親に連れられて集会に参加。親のやり方に「何やってんだろう」と、思うこともあったが、賛成派、反対派に分かれ、分断工作もあるなど複雑な集落環境は、理不尽な状況下にあることが分かり、「まだ勉強不足だが、自分なりの意見を発信するようになった」と話しました。

若者たちが、自分自身の沖縄との関わりや生き方など熱い思いを語り、どんな一歩を踏み出せるのか、共に考えるいい集会になりました。

（首都圏　宮城韶子）

# 6月18日「GAMA―月桃の花」
## ～上映会＆平和のつどいを終えて～

この映画は何度も観たい映画です。７１年前に起こったことを忘れないために。

昨年に続き２回目の上映会、今年のテーマは「過去から学び未来へとつなげる」で、若い人はじめ多くの人に観てほしいと準備しました。映画を観て涙ぐむ年配の女性、２歳の女の子の母である友人は「わかれへん、母が子どもの命を奪うなんて、怖い」と言った。それが戦争。今も世界中で子どもたちが傷つき脅えている。

この映画は重い内容でずっしりせまってくるので、観たあとゆっくり語り合う時間を持ちたいところなのですが、今回は少し心がほっとする場をと“みんなで三線”に挑戦！！吹田三線会の皆さんの協力で沖縄の唄三線で和みました。

６月２３日慰霊の日に合わせた上映会が沖縄県民大会の前日となり、意義深いものになりました。うるま市で起こった基地があるが故の痛ましい事件は「沖縄は戦後ではない…」を本土の私たちに突きつけました。

私たちは向き合わなければなりません。映画を通して戦争の本質を理解し、『命どぅ宝』の思いを広げていきたい。平和の学びには終わりがありません。

（関西　池側恵美子）

# 不幸の元凶 ～こらむ・コラム～

バングラデシュで 7 人の日本人が殺害された。誰もがその非業の死を悲しむ。しかし悲しむ前に忘れないで欲しい。それは、小泉がブッシュに尻尾を振り、テロとの戦争に参加した時から、日本人はテロリストのターゲットになったということだ。さらに小泉の後を継いだ安倍が IS を敵に回したことで、テロリストに日本人殺害の口実を与えてしまったことだ。従って今回の日本人殺害の加害の側に、小泉、安倍と続いた憲法違反の自公政権の暴走があり、そのような政治犯罪を許してきた日本国民にも、当然加害の罪と責任があるということである。

自衛隊に犠牲者がでずして生じた今回の事件。ふと思い浮かぶのが「軍隊は国民を守らない」という沖縄戦の教訓であり、一億玉砕思想で強制集団死させられたウチナーンチュの悲劇である。沖縄県民はその反省に立って 2 度と戦争をしないと誓いあい、憲法 9 条を掲げる日本を祖国と信じ復帰したのである。

ところが復帰して見た日本は、既に憲法を蔑ろにした天皇中心の非民主的権力に支配された国であり、そのような政治を支える戦前と変わらぬ国民の姿であった。そんな異様な国の政府が、外交と防衛は国の専権事項とのたまい、憲法の絶対法規を無視して米国追従せざるを得ない理由が一体何処にあるのか？日米安保条約や日米地位協定が何故改定できないのか？日本という国は本当に独立国家なのか？外交防衛や沖縄問題を考えるほどに、この国の置かれている状況は、まるで米軍占領下の収容所の中の「自治体組織」と変わらない。

驚いたことに、私の診立ては当たった。1947 年に施行した日本国憲法に真っ先に違反し、現行の米国支配を望んだのは、他でもない、昭和天皇だったのである。昭和天皇は命の恩人マッカーサーの頭越しに自己保身を図り、ダレスに直訴。安倍晋三の祖父岸信介等の復権を条件に、現行の日米安保条約と日米地位協定を結ばせたのであった。この恐るべき国家機密「第2の天皇メッセージ」が、米国の情報公開により明らかになったが、なるほどと思うと同時に、国民の不幸を改めて嘆くばかりである。

海勢頭豊（うみせど　ゆたか：SDCC 共同代表）

## わんさか通信★ジュゴンのわ

「我流です」と照れていましたが見つけた素材でこれをああしてみようとひらめくと語る姿はアーティストでした。（沖縄・小平）

## 民宿・てるや

「また来るからね」と帰っていくお客さんを見送るのが一番の喜びと言うのは二見(ふたみ)にある民宿のオーナー照屋さん。いつもニコニコ、癒されます。

SDCC のじゅごんの里ツアーでも毎回お世話になっているお宿。夕食の BBQ は定番のコミュニュケーションの場になっています。ピザ窯もありおいしいパンの注文もできますよ。牛乳パックに耐熱セメントを流し込み作った手作りレンガのピザ窯です。

敷地内にあるものは古材などを利用して作ったものがたくさん！手作りならではの温か味が満載で手入れが行きとどいたお庭がとってもキレイです。

貝殻が沢山使われているので元漁師かしら？と尋ねてみると「昔に海岸からみんな取ってきた」と。木材も台風で倒れた木などを利用しているそうです。

# INFORMATION

## 《 今後のスケジュール 》

**＜首都圏＞**

・7/23（土）戦場ぬ止み上映会 14 時 ,16 時半 ,19 時
大田区消費者生活センター（JR 蒲田駅徒歩５分）
一般 800 円、シルバー・障がい者・学生 500 円

**・7/31（日）辺野古新基地建設断念を求める全国交流集会**
10 時～18 時　連合会館（分科会２、３、４）
全電通会館（全体集会、分科会１）
**＊SDCC は第４分科会で発言**（連合会館 501 会議室）
主催：止めよう！辺野古埋立て国会包囲実行委員会

**＜関西＞**

・7/23（土）フィリピン AKAY ピースコンサート
ドーンセンターパフォーマンススペース 17 時半開演 大人 2000 円

**・7/28（木）じゅごん茶話会 @京橋事務所 14 時～16 時**

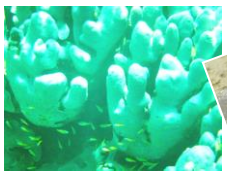
**・7/30-31（土、日）2016 全交 in 大阪 @エルおおさか**
**7/31 ＳＤＣＣ分野別討議 10 時～12 時半 ５Ｆ研修室２**

**・8/28(日) STOP!辺野古新基地建設！大阪アクション ２周年集会**
14 時半～　17 時デモ出発　500 円（学生 300 円）
エルおおさか ６階大会議室

### ＊ミーティングのお知らせ＊

首都圏では月に２回（不定期）、関西では毎週火曜日にミーティングをしています。どうぞお気軽に、のぞきにきてください。
８月の首都圏ミーティングは８/３（水）、8/24（水）@飯田橋事務所。関西は京橋事務所です。いずれも 19 時～

## じゅごんの里ツアー写真集



今回のツアー参加者は
29 名＋地域の方々。
お世話になりました～。

みんなで書きこんだピースバナー。@シュワブ NO BASE ギャラリー

ヤンバルの
森を堪能

石窯パン
おいし～！

## ハワイ会議 カンパをお願いします

９月開催に開催されるＩUCN（国際自然保護連合）ハワイ会議に向けて、準備を進めています。会議でのブース代、チラシ代、ポスター代、バナー代などに 50 万円ほど必要です。皆様、カンパをどうぞよろしくお願い致します。

ＳＤＣＣのＩUCN会議参加は４度目。毎回、着ぐるみジュゴン、マスコット、折り紙、ダンスなどで元気に沖縄ジュゴンをアピールしています。今回はハワイということで、創作フラダンス「ザンの海」で盛り上げようと女性陣猛練習中です (*^_^*)

チェジュ会議のジュゴンロック♪


ジュゴンちゃんぷるニュース　VOL.87　2016 年 7 月 19 日発行


ジュゴン保護キャンペーンセンター　Save the Dugong Campaign Center（SDCC）
〒162-0815　東京都新宿区筑土八幡町２－２１
第１千代田ビル３０１　なかま共同事務所内　TEL/FAX　03-5228-1377
○ http://www.sdcc.jp/　○ info@sdcc.jp
（関西連絡先）　〒534-0025　大阪市都島区片町２丁目９番 21 号野口ビル 302
TEL/FAX　06-6353-0514


**会費(2000 円)＆カンパ振り込み先**

郵便振替:
加入者名　ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号　00140－9－660199
他行、コンビニからは：ゆうちょ銀行　〇〇八支店
口座番号　普通　8159084

＊ちゃんぷるニュース購読会員募集中です。年会費２０００円で年６回ニュースをお届けします＊
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに！